SBI大学院大学

2027年度 春学期

グローバル・ビジネス・プログラム

― 募集要項 ―

SBI大学院大学 概要

大学名称	: SBI大学院大学
学長	: 蟹瀬 誠一
研究科・専攻	: 経営管理研究科 アントレプレナー専攻
大学の形態	: 専門職大学院（通信教育）
修了後の学位	: 経営管理修士（専門職）
入学定員	: 本科生 年間120名（春期・秋期の各60名募集）
最低修業年限	: 2年
修了要件	: 34単位以上の単位取得
設置者	: 学校法人SBI大学

住所　: 〒106-6021 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階
電話　: 03-6229-1175
FAX　: 03-6685-6100
E-mail　: sbiu-contact@sbi-u.ac.jp

グローバル・ビジネス・プログラムとは

グローバルに活躍するためのビジネススキルを身につける

日本企業の国際化支援として、海外駐在員をはじめグローバルビジネスに携わる、ビジネスパーソンの国際的知見のレベルアップを目的とする「履修証明プログラム」です。

・グローバル経営やグローバルな環境でビジネスに携わる人に求められる基礎的知識を体系的に学ぶ。
・グローバル展開を推進するマネジャーや海外赴任担当者が直面する戦略的問題に対して主体的に対応できるようになる。

履修証明プログラムとは

学校教育法に基づき、主として社会人を対象にそのニーズに応じた必要な講習を体系的に編成した学修プログラムです。60時間以上の履修による修了者には履修証明書を交付します。

募集定員／修了要件

■募集定員
各学期 5名（年間10名）
※ 申込が募集定員に達した場合は、募集を終了いたします。

■履修期間
1年以内
※ 申込時に［半年履修］または［1年履修］にて計画する履修期間をお選びください（申込後の変更はできません）。
※［半年履修］の場合は一般教育訓練給付金は利用できません。

■修了要件
60時間以上の履修及び修了認定

■証明書発行
修了要件を満たした場合、履修証明書を授与する。

■単位授与の有無
プログラム修了後、本学経営管理研究科（MBA本科コース）へ出願する場合には、合格認定された受講科目については単位授与を行う。（単位授与の際の単位数は対象科目表及びシラバスに記載）

■入学資格
要件Aおよび要件Bをともに満たしている者

要件A (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 4年制大学卒業 1. 大学を卒業した者 (2) (1)と同等の学力があると認められる 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者 6. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7. 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程または専攻科を修了した者（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧 参照） 8. 旧制学校等を修了した者 9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者 10.本学において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者 i. 4年制大学を卒業したことの証明書が提出できない方で、日本の大学院を修了している場合 ii. その他（学歴が大学卒業未満の者等）
要件B (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 社会人として就業経験が3年以上ある (2) (1)と同等の経験があると入学審査にて認められる

※ 要件A 1〜9／要件B（1）に該当しない方は「入学資格審査票」への記入が必要となります。
※ 講義は日本語で行われるため、日本語を母国語としない場合には日本語能力試験N1程度が目安となります。

グローバル・ビジネス・プログラムの主な特徴

現実の課題解決案を立案できる

グローバル展開を推進するマネージャーや海外赴任担当者が海外現地で直面する戦略的問題に関する課題解決案を立案することができます。以下のような方におすすめです

・世界を舞台に活躍するためのスキルを磨きたい人
・国際ビジネス関連のキャリアを目指す人
・海外赴任や留学や移住などの可能性がある・検討している人
・海外とのビジネスがますます重要になる企業／業界／業種の人
・グローバル視点・スキルを持つことによってキャリアアップを図りたい人

グローバルトレンドを取り入れたMBA科目

下記の開講科目一覧から、ご自分のペースや学びたい内容に合わせて、ご選択いただけます。
※ 受講開始期以降の受講科目については、科目やシラバス等が変更となる可能性がございますのでご了承ください。

【履修時間60時間以上をお申込みください。】

科目名	レベル	履修時間	単位換算	担当教員	期
グローバル・ビジネスコミュニケーション※1	発展	20	2	マイケル・サンダークリフ	春・秋通期
グローバル・ビジネスライティング※1	発展	20	2	マイケル・サンダークリフ	春・秋通期
世界経済と政策対応	コア	10	1	山﨑達雄	春前期
グローバル経営戦略	コア	10	1	吉田宣也	春前期
中国企業論	応用	10	1	細沼藹芳	春後期
アジア人材マネジメント	コア	10	1	細沼藹芳	秋前期
地政学：激動する世界を読み解く※2	コア	10	1	蟹瀬誠一	春・秋前期
国際税務マネジメント	応用	10	1	梅田浩二	秋前期
中国市場戦略	発展	10	1	細沼藹芳	秋後期

※1.「グローバル・ビジネスコミュニケーション」・「グローバル・ビジネスライティング」を支障なく受講するにはTOEIC700点以上の英語力があることが望まれます。また同科目は通期20時間となりますが、それぞれ春学期または秋学期どちらかのご受講をお選びいただきます。
※2.「地政学：激動する世界を読み解く」については、春学期前期または秋学期前期どちらかのご受講をお選びいただきます。

受講科目をMBA本科コースの単位に引継げる

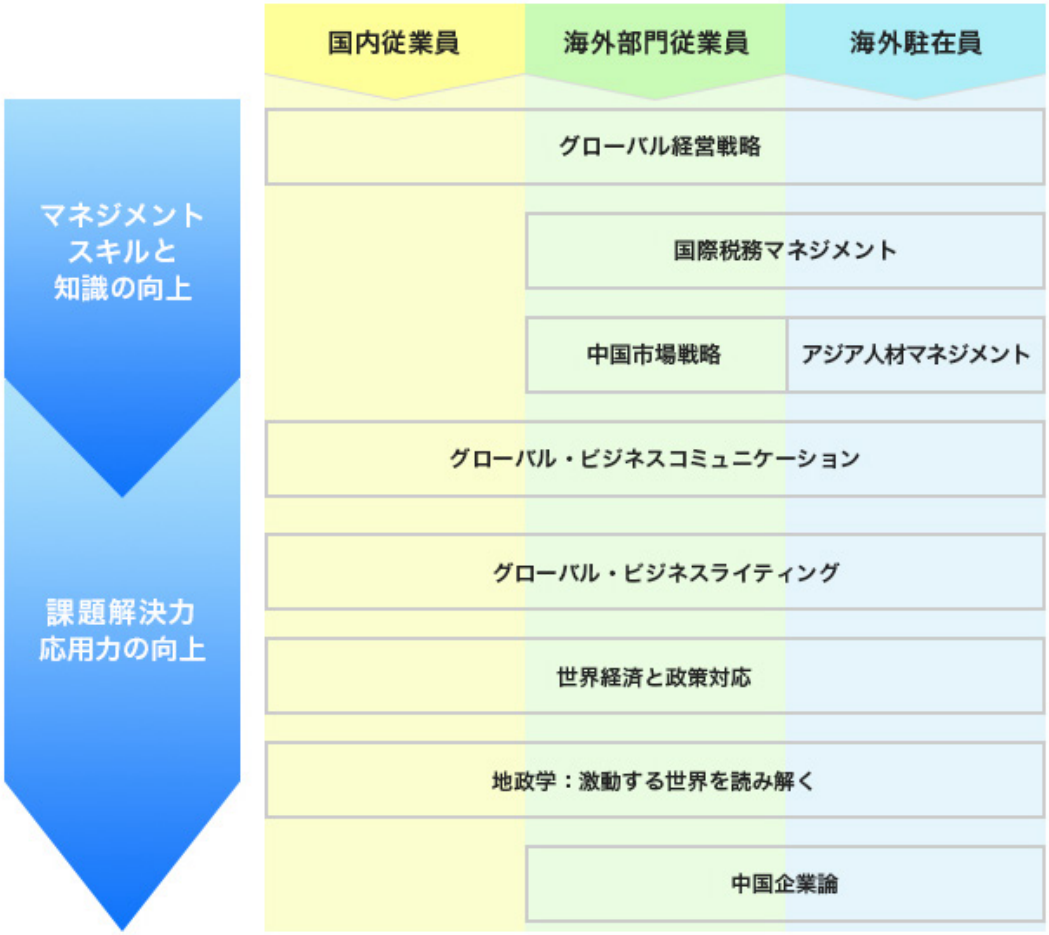
本プログラムを受講後にMBAの取得を目指す場合には、受講科目のうち最大10科目12単位分をMBA本科コースに取得済単位として引き継ぐことが可能です。また、単位移行することでMBA本科コースの2年次授業料が一部減免されるようになります。
※減免額は移行する単位数により変動するため、詳細は事務局までお問い合わせください。
※履修証明プログラムにおける10時間をMBA本科コースでの1単位と換算します。

履修モデル

受講される方のお立場や状況別に、お勧めの履修科目をご紹介させていただきます。



国内従業員　　：今後海外駐在予定がある方、海外でのビジネスを考えている方
海外部門従業員：海外部門で事業に携わっている方
海外駐在員　　：海外で実際に活躍されている方



申込手続き

■日程

申込締切	2027年3月10日(水)
開講日	2027年4月14日(水)

■学費

受講科目数により変動します。
・履修時間10時間科目授業料：7万円
・履修時間20時間科目授業料：14万円
・登録料：2万円
※ 授業料については春学期科目・秋学期科目ごとにお支払い手続きをいただきます。
※ 登録料は、他コースを含め新規受講時のみ適用されます。

■学費の例

受講科目	60時間	70時間	80時間	90時間	100時間
計算式	7万円×6 ＋ 登録料2万円	7万円×7 ＋ 登録料2万円	7万円×8 ＋ 登録料2万円	7万円×9 ＋ 登録料2万円	7万円×10 ＋ 登録料2万円
合計	44万円	51万円	58万円	65万円	72万円

■入学資格の確認・入学資格審査について

入学資格要件（P.3参照）のうち、要件A 1〜9に該当しない方および要件B(1)に該当しない方は、申込時に入学資格審査が必要となります。申込時に入学資格審査が必要となります。入学資格審査票は、該当する方のみ申込画面から遷移しますので、ご提出をお願いいたします。審査には、1週間程度お時間を頂戴しますのでご了承ください。

■申込方法

本学Webサイトよりお申込みください。
入学試験はございませんが、入学資格要件（P.3参照）を満たしていない方は、「入学資格審査票」をご提出ください。

» 『SBI大学院大学Webサイト』→『 GBプログラム』→『お申込みはこちら』
https://www.sbi-u.ac.jp/form/apply_global

申込手続き

■学費の振込

お申込後に学費のご案内メールをお送りいたします。ご案内メール受信後、以下の指定口座にお振込みください。

【個人でのお申込みの場合】
お申込み月の翌月15日払い。申込締切月にお申込みいただいた場合、当月15日払いとなります。

【法人でのお申込みの場合】
各月1日～15日までのお申込み：申込月の翌月末のお支払いとなります。
各月16日～末日までのお申込み：申込月の翌々月末 にお支払いとなります。
ただし、申込締切日の前月16日以降 にお申込みいただいた場合は、上記にかかわらず申込締切日の属する月の月末にお支払いとなります。

・振込手数料はご負担願います。
・海外から送金される際は事前に大学事務局までお問い合わせください。
・振込み人名義は必ず出願者名にしてください。
・大学事務局管理のため、振込み人名義の前に、「104」と入力してください。
・振込票の控えはお手元に保管してください。
・領収書の発行を希望される場合には、事務局（admission@mba.sbi-u.ac.jp)までご連絡ください。

銀行名　：ドコモSMTBネット銀行（0038）
支店名　：法人第一支店（106）
科目　　：普通預金
口座番号：1002143
口座名義：学校法人SBI 大学
フリガナ：ガク）エスビーアイダイガク

【領収書の発行】
発行をご希望の場合は発行方法（PDFまたは郵送）及び以下該当の情報をご連絡ください。

・PDFの場合：宛名
・郵送の場合：宛名、郵送先住所

※インターネットバンキングでお振込みの場合は、振込明細等の画面印刷またはキャプチャ（スクリーンショット）を保存してください。
※ご入金後、やむを得ずキャンセルを希望される場合は、受講開始日前日までの受付に限り、登録料および授業料を返金いたします。なお、返金に伴う振込手数料は受講者の負担となります。受講開始日以降は、いかなる理由においても登録料・授業料の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■必要書類・受講前手続き

お申込後にお手続きの詳細に関するご案内メールをお送りいたします。
(1)～(5)については専用フォーム（Microsoft Forms)、(6)についてはメールでのご提出が必要となります。

(1) 個人情報の取扱いに関する同意書
(2) 誓約書
(3) 秘密保持誓約書
(4) SBI大学院グループウェアのご利用に伴う個人情報の取り扱いについて
(5) eラーニングでの受講に必要な基本的なパソコンスキルに関する誓約
(6) 大学の卒業証明書等、入学資格要件の確認に必要な書類

■個別相談

カリキュラムや費用等について個別にご質問、ご相談いただけます。お気軽にお問い合わせください。
»『SBI大学院大学Webサイト』→『個別相談のお申込み』
https://www.sbi-u.ac.jp/event/sodankai/apply-970

グローバル・ビジネス・プログラム 科目

グローバル・ビジネスコミュニケーション

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	2



マイケル・サンダークリフ
講師

＜授業概要＞

グローバル・ビジネスコミュニケーション講座では、異文化環境でのビジネスにおける最適なコミュニケーションの方法を身につける。北米、欧州、豪州、アセアン諸国とビジネスを行ってきた弊社の知見を踏まえて、異文化/多文化間のビジネスでの成功に必須のマインドセットとスキルを養成できるように、明確な方法論と豊富なケースを組み込んだプログラムとなっている。どの文化においても力を発揮できる「Universal Communicator」となるために、Step 1 「他文化と自文化理解」、Step 2 「交渉に役立つコミュニケーション技法」、Step 3 「相手を説得するプレゼン技法」の 3 Step で段階を踏んでスキルを養成することができる。

<学修目標>

1) 異文化コミュニケーションの最新理論を学び、文化間におけるコミュニケーション特性の差異を知り、グローバルビジネスの場でトラブルを回避し、ビジネスの場で異文化の相手と信頼関係を築けるようになるための要点を整理できる。
2) 日本文化の強みを理解し、「グローバルスタンダード」の表現、論理構成、資料作成の方法を学び、グローバルビジネスの場を想定した英語でのプレゼンテーションを行うことができる。

グローバル・ビジネスライティング

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	2



マイケル・サンダークリフ
講師

＜授業概要＞

グローバル・ビジネスライティング講座では、グローバルビジネスで必要とされる英語ライティング力を養成する。本講座では、まず効果的なライティングの土台となるクリティカル・シンキングの基礎を学び、英語での情報・図表分析から資料・提案書作成ができる力まで、実際のビジネスケースを使いながら養成する。特に、情報を提示する Informative Writing と 相手を説得する Persuasive Writing の2つの書き方を学ぶ。その上で「客観的データ提示＋相手への説得」という二つの要素を組み合わせ、効果的な英語提案書の作成法を習得する。また、Informative Writing と Persuasive Writing で学んだ内容を活用して、後半の実践演習では多数のケース分析を行い、実際に提案書を作成する。Executive Summary、Problem Statement、Proposed Solution、Qualifications という実際の提案書の流れに沿って、各自ドラフトを作成することで、実践的な知識とスキルを身につける。

<学修目標>

1) グローバル・スタンダードな論理力を身に付ける。
2) 英語での資料分析、図表分析の力を養う。
3) 客観的にデータを示す Informative Writing の書き方を習得する。
4) Informative Writing と Persuasive Writing を組み合わせた総合提案書を作成できるようになる。
5) ライティングで説得するためのレトリックを習得。

※2026年秋学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

グローバル・ビジネス・プログラム 科目

世界経済と政策対応

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1



山﨑 達雄
教授

＜授業概要＞

この講義では、初回に世界経済の見方、グローバルガバナンスの現状、コロナウイルスとロシアのウクライナ侵攻、イランでの戦闘による経済ショック、生産性を伸ばす政策、中長期的にみた地政学リスク、そして足元の内外経済情勢などを概観。第2回以降、97年のアジア通貨危機、2008 年のリーマンショック、2010 年の欧州債務危機という3つの異なる形態の危機の原因、政策対応、その結果として築かれた新しい金融規制をはじめとするグローバルガバナンスを研究します。さらに中国の国家システム、人民元の覇権などについて概観したうえで、少子高齢化、生産性の低迷、所得格差の拡大、政府債務の増加など世界の共通課題について紐解き、財政政策、金融政策でいかに対応していくべきかを考察します。

<学修目標>

私の講義は、世界経済の現状を正しく認識し、将来の経済見通しや市場予測を立てていく上で必要な物の見方、情報の分析の仕方、データの解釈の仕方などを一通り習得することを目的とします。それにより、起業を目指す受講生が事業環境を判断する場合はもちろん、組織の一員である場合であっても、例えば上司から(それが社長であれ総理大臣であれ)激動する世界経済の何を見ておけば経営判断・政策判断を大きく間違えることがないのかと聞かれた時や、相手国のカウンターパート(ビジネスパートナーであれ外交交渉の相手であれ)と交渉を行う時でも臆することなく対応できる技術の習得を目指します。そのためには、巷に溢れる雑多な情報の洪水に飲まれていてはいけません。基本となる政府の政策内容を知った上で、それを客観評価する役割を果たすIMFのような国際機関、G20のようなマルチの国際枠組みの評価、対応に目を光らせなければなりません。

グローバル経営戦略

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1



吉田 宣也
教授

＜授業概要＞

「世界のフラット化」が言われて久しい。同時にグローバル対応の必要性が叫ばれ、海外企業の日本進出、日本企業の海外展開の事例（成功例、失敗例）にも事欠かない。このような状況のなか、本講座では、バズワードとして時に濫用される「グローバル経営」という言葉を客観的に見つめ直し、その定義と変遷の歴史を学ぶとともに、昨今の時代背景と事業環境に照らして、事例とともに整理分類を試み、それらの意義と価値について考察を加える。

<学修目標>

グローバル展開の様々なレベルと方法を理解し、自らの所属する企業が実際どのような状況にあり、どのような課題に直面しているかを分析して、自社のグローバルビジネスを進展させるための提案をできるようにすること。

※2026年秋学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

グローバル・ビジネス・プログラム 科目

中国企業論

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	応用	1



細沼 藹芳
教授

＜授業概要＞

路遥知馬力、日久見人心（道が遠いほど馬の力が分かり、日時が経つほど人の心が見える）」という古い諺が中国にはあります。中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとします。中国ビジネス成功の鍵は、中国社会でうまくネットワークを築くことであると言われています。本講義は、中国ビジネスに関心のある授業生あるいは将来中国でビジネスを行いたい授業生を対象にしています。中国企業の全体像や特徴を知り、中国のパートナーと理解し合いながらネットワークを築くために中国企業の特徴を詳しく講義します。
本授業はまず、中国地域、消費市場の特徴などについて講義します。次に、国有企業、民間企業、新興企業、マネジメントの特徴などについて講義します。最後に、中国企業の実態についてケーススタディを行います。

<学修目標>

一つ目の学修目標は、中国企業の実態を理解するための基礎知識を習得すること。二つ目は、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を習得すること。三つ目は、以上２つの知識を習得したうえで、受講生一人一人が中国企業とビジネスを行う際に、諸問題への解決能力を高めることである。

アジア人材マネジメント

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1



細沼 藹芳
教授

＜授業概要＞

グローバル化の進展に伴って、企業の海外進出が活発している。また、企業だけでなく優秀な人材も国境を越え、世界中で活躍をし始めている。このような環境の中で、今後の市場として注目されているアジア市場には、現地企業や外資系企業を巡る人材競争がさらに激しくなっている。アジアへ進出している日本企業が人材面で勝ち抜くためには、アジア人材を活用できる有効な人材マネジメントが求められている。そのために、アジア人材の特徴、アジア諸地域の経済・文化・人事慣行などの在り方、異文化への理解力などの知識が必要となる。本授業は以上の内容を中心に講義する。

具体的に、本授業は次の３つの内容によって構成されている。
1) 異文化の認識とアジアの人材像（第1～2章）
2) 地域でみる人材マネジメントのポイント（第3～5章）
3) 活躍できるリーダーの条件（第6～7章）

<学修目標>

1) 学習目標は、アジア人材マネジメントの特徴を把握すること
2) ビジネスマンとしてアジア諸国とのビジネス的な交流を持つ場合に必要な知識を習得すること
3) 以上2つの知識を習得したうえで、受講生一人一人がリーダーとして直面する可能性のある人材マネジメントの諸問題への解決能力を高めること

※2026年秋学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

グローバル・ビジネス・プログラム 科目

地政学：激動する世界を読み解く

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	コア	1



蟹瀬 誠一
教授

＜授業概要＞

世界は多くのリスクを抱えながら21世紀の歩みを続けている。ビジネス界もマネーだけでなくパワーの世界、いわゆる地政学ならびに経済を武器に使う地経学リスクを理解しなければ生き残れない「野蛮の時代」に突入した。
とりわけ、コロナ禍で始まったウクライナ戦争は世界秩序を揺るがす戦後最大の歴史的大惨事だ。地域紛争が本物の戦争に拡大し、その結末に拘わらず世界の経済から企業経営にまで深刻な影響を与えている。対立が深まる米中関係やテクノロジーの急成長もビジネスに大きな影を落としている。
本講では国際秩序が崩壊した国際情勢の先行きを展望するとともに、「VUCA」と呼ばれる予測不能な状況に企業経営者はどう立ち向かえばよいかも考える。

<学修目標>

国際情勢や歴史を考究することで、グローバル・ビジネスの現場で正しい意志決定や行動を起こすための源泉である実践的インテリジェンス(価値観、倫理観を含む知能や知恵)を身につけることができる。
世の中に溢れるさまざまな情報を適切に解釈・分析・評価できる情報リテラシーを高めることができる。

国際税務マネジメント

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	応用	1



梅田 浩二
講師

＜授業概要＞

本授業の前半では、OECDモデル租税条約を題材に国際課税ルールの基礎知識を学修します。また、近年のグーグル、アマゾン等によるアグレッシブ・タックスプランニングと称される課税回避行動を分析するとともに、G20とOECD租税委員会によるBEPS行動計画を通じた国際課税ルール強化の動きをレビューします。後半では、グローバル企業が遵守すべき国際租税法の一つである移転価格税制と日本固有の制度である海外寄付金課税について学修します。そして、本国親会社による当該税制への過剰適応は、海外子会社側の課税リスクを高めるだけではなく子会社の業績も悪化させモチベーション低下を誘発するという経営管理上のリスクもあるため、制度対応と経営管理の両立について検討します。
なお、国際租税法を学修するために、法人税や企業会計に関する詳細な知識は必要ありません。経理業務に従事する方のみならず営業、調達、事業企画、経営管理等に携わる方々にとって有用な知識ですので、広く受講いただければと思います。

<学修目標>

学修目標の第一は、国際課税ルールの基礎知識を習得し、所属企業あるいは事例企業の課税リスクを評価できるようになることです。第二は、グローバルな経営管理と国際税務コンプライアンスの両立を視野にいれた国際税務マネジメントの方法を提案できる力を養うことです。

中国市場戦略

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	発展	1



細沼 藹芳
教授

＜授業概要＞

日本企業が中国市場に進出するとき、一つの強みは、日本ブランドが持つ力です。具体的に言えば、中国消費者にとって、日本製品は「信頼できる」「丁寧に作られている」「安心で使える」などのイメージを持っています。また、日本製品を買うことは「自分へのご褒美」とも言えます。この強みを最大限に生かすために、中国市場の特徴、消費者の行動などを理解する必要があります。中国市場といえばまず、沿岸部の比較的富裕層が多い地域への販売・サービスの提供に注目が集まります。しかし、あまり注目されていなかった地方の二級都市、三級都市も、最近は購買力が向上し、大きな消費市場となりつつあります。こうした地域でのエリア戦略、販売戦略、ネットマーケティング戦略などが今後は重要となります。
具体的に、本授業は以下３つの内容によって構成されます。

1) 中国市場の概況と消費文化、消費者ライフスタイルの変化（１～２章）
2)「何を」「どこで」「誰に」「どうやって」売るかについて具体的に中国での市場戦略を学ぶ（３～５章）
3) 中国ビジネスを成功に導くヒント（6~7章）

<学修目標>
1) 学修目標は、中国市場へ進出するための必要な知識を習得すること
2) 中国におけるビジネスのヒントとなるものを見つけること
3) 以上2つの知識を習得したうえで、受講生一人一人が中国マーケットに進出する際に、実践力、行動力を高めること

一般教育訓練給付金制度について

「グローバル・ビジネス・プログラム」は一般教育訓練給付制度の対象講座です。

■制度概要

一般教育訓練給付金は、働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。雇用保険の被保険者または被保険者であった方のうち支給要件を満たす方が、厚生労働大臣の指定した講座（対象コース）を、修了要件を満たして受講を修了した場合に支給されます。

■支給内容

本プログラムの修了要件とする60時間分の授業料に対して、うち20%（84,000円)が給付されます。
※給付金の学費の対象は、授業料のみとなります。登録料は対象外です。
※60時間以上の授業を受講した場合においても、60時間分の授業料に対して、うち20%（84,000円)の給付となります。

■支給要件

[初めて受給する場合]
受講開始日までに雇用保険加入期間が通算１年以上ある。
[過去に受給がある場合]
前回の受講開始日から今回の受講開始日までに雇用保険加入期間が通算３年以上あり、なおかつ、前回の給付金受給日から受講開始日までに３年以上経過している。
※ご自身の受給資格の有無は事前にハローワークでご確認ください。
※一般教育訓練給付金の支給は修了後となります。

■修了要件

・60時間以上の履修及び修了認定
・[1年履修］にて履修をすること（[半年履修］の方は、対象外となります。）

■手続き

[受講開始前]
顔写真付きの住所・氏名・生年月日が確認できる身分証明書のコピー（免許証・マイナンバー・パスポート等）をSBI大学院大学へ提出してください。
[受講修了後]
受講修了日の翌日から起算して１ヶ月以内にご本人の住居所を管轄するハローワークに以下の書類を提出し、
支給申請手続きを行ってください。

※手続きの詳細については、厚生労働省HPにて最新の情報をご確認ください。
» 『厚生労働省 教育訓練給付制度』
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

グローバル・ビジネス・プログラムを履修後、MBA本科コースへのご入学をご検討の方へ

グローバル・ビジネス・プログラムを履修後、MBA本科コースへのご入学をご検討の方は、MBA本科コースへのご入学後に「専門実践教育訓練給付制度」をご利用されることをおすすめします。

※グローバル・ビジネス・プログラムにて「一般教育訓練給付制度」をご利用いただいた場合で、さらにMBA本科コースでの「専門実践教育訓練給付制度」をご利用いただくには、「前回の受講開始日から今回の受講開始日までに雇用保険加入期間が通算３年以上あり、なおかつ、前回の給付金受給日から受講開始日までに３年以上経過していること」が必要となります。ご自身の学修スケジュールをご検討の上、教育訓練給付金制度をご利用ください。
※専門実践教育訓練給付制度の支給を受けるためには、一定の雇用保険の被保険者期間を有していること、半年ごとに本学が規定している『受講認定基準』を満たしていることが必要です。

ご参考：MBA本科コース編入募集要項（2027年秋学期）

グローバル・ビジネス・プログラムからMBA本科コースへ編入すると

・プログラムが終了する翌学期の2次募集合格者まで入学金10万円が免除されます。
・グローバル・ビジネス・プログラムで受講した科目を単位として換算し、修了までに必要な取得単位数を減らすことができます。
・取得した単位から一部授業料が2年次の学費から差し引かれます。

単位認定
グローバル・ビジネス・プログラムでの取得単位

＋

本科
MBA本科コースでの取得単位

グローバル・ビジネス・プログラムでの取得単位と合わせて34単位で修了

■MBA本科コース募集定員

各学期入学：60名

■入学資格

4年制大学卒業もしくは同等の学力があり、かつ社会人として就業経験が3年以上もしくは同等の経験があると入学審査にて認められた者

■出願期間（予定）

募集	入学資格審査票提出期日	願書受付締切	論文・面接審査期間	合否発表
1次募集	2027年4月29日(木)	2027年5月17日(月)	2027年6月1日(火)～6月9日(水)	2027年6月25日(金)
2次募集	2027年7月5日(月)	2027年7月20日(火)	2027年8月2日(月)～8月6日(金)	2027年8月20日(金)

■選考方法

論文審査：小論文（2問）の審査
面接審査：口頭試問及び必要な方への語学力チェック（日本語）
※面接は原則オンラインでの実施を予定しております。面接日程は、出願書類と入学検定料を受領後、調整させていただきます。

■合否発表

各募集の合否発表日に、メールで合否を発表致します。

MBA本科コースへの編入をご検討の場合は、
MBA本科コースの出願書類をダウンロードください。

»『SBI大学院大学Webサイト』→『願書請求』
https://www.sbi-u.ac.jp/request_application

システム要件

■ハードウェア要件

・CPU：4コア2.5Ghz以上
・メモリ：16GB以上を推奨
・ハードディスク：

【WindowsPCの場合】

・Teamsアプリのインストール時：3GB の使用可能なディスク領域が必要です。
・Microsoft365のインストール時：4GB の使用可能なディスク領域が必要です。

【Mac PCの場合】

・Teamsアプリのインストール時：1.5 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
・Microsoft365のインストール時：10 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

■ソフトウェア要件

【WindowsPCの場合】

・OS：Windows11［ 64ビット版 ］
・Webブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome
・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

【MAC PCの場合】

・OS：macOS v26.4 Tahoe、macOS v15.7 Sequoia、macOS v14.3.1 Sonoma、macOS v13.5.1 Ventura
・Webブラウザ：Safari、Google Chrome
・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

※Chrome OS（Chromebook）には対応しておりません。

■モバイル端末でのご受講

・OS：iOS 26、18、iPadOS 26.2、18、Android 16、15、14、13
・Webブラウザ：
iOSをご利用の場合：Safari
Androidをご利用の場合：Google Chrome（標準搭載）

※iPad mini及びiPadProは動作保証対象外です。

■ネットワーク要件

・下り:2Mbps以上のインターネット接続
・上り:256kbps以上のインターネット接続
※スマートフォンの場合はLTE/4G以上、WiFi環境を推奨

【Web会議システムで授業に参加される場合】

・下り:1.8Mbps以上のインターネット接続
・上り:2.6Mbps以上のインターネット接続

システム要件

■USBカメラ、ヘッドセット要件

【Web会議システムで授業に参加される場合】

・USB2.0WebカメラまたはPC内蔵のWebカメラ
・ヘッドセットまたはヘッドフォン・イヤフォン及びマイク
※ 上記パソコンのハードウェア、ソフトウェア要件に適合するもの

■その他

・大学院アカウントへのログイン時には二要素認証が必要です。ご自身のスマートフォン等に「Microsoft Authenticator」アプリをインストールし、アカウント登録を行っていただく必要があります。
・大学事務局との連絡の為、メールを送受信できる環境が必要です。
・レポート課題等への対応のためMicrosoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPointが必要です。
（在学中に限り、大学から提供されたライセンスでご利用いただけます。）

2026年9月現在（変更となる場合もございます。）

■注意事項

・ブラウザのJavaScript、Cookie、SSL(TLS)の設定が有効である必要があります。
・セキュリティソフトウェアまたは、アンチウイルスソフトウェアのセキュリティ機能によって当サービスの機能が正しく利用出来ない場合があります。
・海外でご利用の場合は、国毎のネットワーク通信やインフラ事情により受講ができない場合がございます。事前にご確認のうえご利用ください。
・本サービスは、Web通信が可能な環境でご利用になれますが、社内LANのファイヤーウォールやプロキシーサーバーなどにより通信制限されている場合は、本学コンテンツを正常にご受講いただけない場合がございます。この場合は、本サービスで利用しているプラットフォーム（学習管理システムサーバーおよび映像配信サーバー）についてホワイトリストに追加するなど、ネットワーク管理者様とご調整いただく必要があります。

試聴試験用の動画をSBI大学院大学Webサイトにて公開しております。
» 試聴試験用の動画

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ

SBI大学院大学事務局　平日9:00〜18:00

〒106-6021
東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階
電話 : 03-6229-1175　　FAX : 03-6685-6100
Email ：sbiu-contact@sbi-u.ac.jp

» SBI大学院大学WEBサイト
https://www.sbi-u.ac.jp/

SBI Graduate School

Ver. 2